広報 新潟水協

令和５年４月22日
新潟水泳協会
関屋大川前１－３－31－７
石見　鉄夫
TEL･FAX(025)265-7481
株式会社ハイングラフ

水泳協会の新たな躍進を目指して

会長　石　川　志　郎

新型コロナの感染の期間は、ようやく「収束」に向かう気配がある。

しかし、油断は禁物である。対策によっては「蔓延」の可能性があるからである。そうであっても対策も進歩しているので、「そんなにひどくはならない」というのがある専門家の話である。それを信じて従来通り正常な活動に取り組むことを決意しているところである。

昨年、水泳協会の会員を増やし充実した活動を目指すことや、室内50メートルプールの建設を市に要望することを掲げたが、今年度も引き続きその方針を堅持したい。プール建設については、他の競技団体の要望も含めて前向きに取り組む感触を得ているが、何度も足を運び要望を伝える必要を感じている。体育施設の統廃合や「使いやすい施設」を目指す市の方針を尊重しながら「トレーニングの成果が出る快適なプール」「全国的な規模の大会も開催できるようなプール」を目指したい。

また、会員の増加と充実した活動については、引き続き働きかけて頂きたいが「活躍できる場所」を提供する必要があろうかと考えている。大会運営、総務、事務局、強化、広報など「一人で抱え込むのではなく複数で、協力し合って」が大切であろう。出来るだけ人材を集め協力し合って活動できるようにしたい。

そのため、県水連の組織編制に合わせて新潟水泳協会においても役員体制の強化を図りたいと考えている。

水泳競技の普及と強化は、各部門の地道な努力の継続で一段とその成果が評価されている昨今であるが、新潟医療福祉大学の下山先生はじめスタッフ、選手の皆さんの大活躍が新潟の水泳界に大きな刺激を与えてくれたと感じている。それらを学びながら今年度はさらなる飛躍の第一歩としたい。

HS部　大会報告

第23回新潟県障害者スポーツ大会

令和４年５月29日（日）

コロナ禍の中で５月29日（日）に新潟市西海岸プールで第23回新潟県障害者スポーツ大会水泳競技大会が開かれました。

新潟県内の障がいの手帳を有する小学生から大人、また県内特別支援学校の在学中の生徒を合わせて40名の選手が参加しました。

自己ベストタイム出た選手、出なかった選手も積極的ないいレースをしてくれました。

第22回全国障害者スポーツ大会（いちご一会とちぎ大会）

令和４年10月29日（土）～31日（月）

※大会に選ばれた選手の結果は、下記のとおりです。

新潟市（２名）

氏名	障害区分	年齢区分	種目名	記録	順位	備考
笠原誠一	20	２部	50m自由形	41秒11	2	
笠原誠一	20	２部	25m自由形	18秒46	2	
蓮野巧人	26	青年	50m自由形	24秒55	1	大会新記録
蓮野巧人	26	青年	25m自由形	11秒23	1	大会新記録

新潟県（４名）

氏名	障害区分	年齢区分	種目名	記録	順位	備考
水野　徹	24	２部	50m自由形	30秒42	2	
水野　徹	24	２部	25m自由形	13秒75	1	
志水揚子	13	２部	25m背泳ぎ	37秒16	1	
志水揚子	13	２部	25m自由形	36秒49	2	
遠藤立公	26	青年	50m自由形	30秒21	4	
遠藤立公	26	青年	25m自由形	13秒91	5	
恩田桂太	26	青年	50m平泳ぎ	38秒94	4	
恩田桂太	26	青年	50m自由形	29秒10	4	

私　と　水泳

ー私と登山と水泳とー

坂大　啓子

こんにちは、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

新型コロナウィルス感染状況の中で第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会新潟県予選会が行われました。

◎期日　2023年１月29日（日）
◎会場　新潟市西海岸公園市営プール
　　《室内公認25m》

その中で招集員をやらせて頂きました。今までの招集では密になるので、今回は違う方法で行いました。

●招集を行う種目・組をホワイトボードに表示する。
●招集する選手にADカードを提示させ、水着形状チェック及び商標チェックの後に招集場に入る。
●選手は競技進行の係の指示を聞く。

ホワイトボードとADカードの使用で、大変スムーズにでき密になりませんでした。子供たちもしっかり自分のレーンを自覚していました。

さて、私と水泳について書かせて頂きます。私が初めてプールに入ったのは、中学１年生の時でした。今みたいにプールのある学校は少なく、海や川での水遊びでした。そして春から夏の水との関わりでは、海の潮干狩りと川遊びでした。海の潮干狩りはバケツ持参であさりと蛤を沢山とり、川遊びは糸にスルメを付けザリガニ採りでした。活発な少女時代の楽しい思い出がいっぱいです。結婚してからは、子供が夏は水泳、冬はスケートとスキーのクラブに入り、それが水泳とのきっかけでした。足の届かないプールで頑張っている子供を見て、私は足が届くという思いで水泳に挑戦し、子供の気持ちを少しでも理解したいと思い水泳を始めました。泳いでみると、クロール25mで呼吸が難しいことが分かり子供に対して優しくなれました。長女は私にも出来ない遠泳をやったりして頑張っていました。その時、私はボランティアの親たちと一緒に遠泳中ボートで食べるおにぎりに、自家製の梅干しを入れて作りました。

子供が大人になるまで、テニス・スキー・登山・ハイキングなど家族で楽しみました。家族で登山を楽しんでいる時に、ふと父の言葉を思い出しました。それは小学生だった私に３県にまたがる日本百名山の雲取山は、まだ無理だという言葉でした。今なら登れると思い、父との思い出を振り返りながら雲取山に登頂しました。それから本格的に登山をするようになりました。残雪残る夏山の白馬岳では標高差で酸素が薄くなっ

たせいか少し頭痛がしてきたので、これは有酸素運動をしなければいけないと感じました。そこで頭に浮かんだのは水泳でした。

さっそく新潟市西海岸公園市営プールの水泳教室に申し込みました。そこで丁寧･親切な先生方に出会い、そのご指導のお陰で今まで以上に泳げるようになりました。その甲斐があり北海道百名山９座と、昨年は剣岳・槍ヶ岳にも登頂できました。

最近は有酸素運動で身体を病気になりにくくしたり、脳を活性化するなどと言われてきています。その運動に水泳はぴったりです。

さて、わが国の人口は近年減少してまいりましたが、高齢者人口は2025年に向けて急速に増え続けています。2040年ごろには最高になりその時は、子供人口が今より少なくなるので大変な時代になります。ここ約３年間にわたり「コロナ感染症」の影響で自主的な活動が制限されたりして残念でしたが「ウィズコロナ」と共に日常的な活動も徐々に戻りつつあります。

これからも健康づくりの場として、末永く水泳を楽しみ有意義な人生にしたいです。

今年の抱負

★ 夢への一歩

◆ISCウェル　阿部　來実

私はNST大会で50m自由形で表彰台に登る、という目標を達成することが出来ませんでした。そこで自分のレースの映像を見て、泳ぎ方を見直してみました。そしたら飛び込みが周りよりも遅れていることに気が付きました。そこからスタートの改善をしました。

周りよりもスタートが遅れているのは、私のスタートの反応速度が遅いからだと分かりました。そこから飛び込み練習の出来るプールを探し、毎週日曜日のクラブでの練習後、飛び込み練習をするようになりました。何回も練習するうちにコツが分かってきました。そこから自分が出来る最大限の努力をしました。

そしてBSN大会で今まで努力した実力を出し切り、目標としていた50m自由形が二位で、表彰台に登ることができ、100m自由形では優勝することが出来ました。努力は裏切らないんだなと思いました。

中学生になったら、二、三年生のライバルが増えて、競争率が激しくなります。その中から勝ち抜いて、県大会入賞、北信越に出場し、結果を残し、私の最大目標とするジュニアオリンピックに出場し、結果を残したいと思います。目標を達成するためにも、日頃から努力することの大切さを忘れずに頑張りたいです。

そして今まで応援してくださった親に親孝行したいです。これからも、支えてくださった皆に感謝し、夢を実現させていきたいと思います。

★ 楽しい2022年

◆アクシー東　若槻　恭助

僕がこの一年で頑張ったことは大会です。そのために取り組んだことが三つあります。

一つ目は体操です。体操は、2022年になってからストレッチポールなどの体操の範囲を広げる体操用具を取り入れ、レース前に少しストレッチなどをしてからレースに出るようになり、タイムはとても良くなりました。

二つ目は水中練習です。僕はNST･BSN大会では、大会記録まであと少しで大会記録を出せず、その悔しさから練習では、キャッチからターン後の動作まで練習しました。特に頑張ったことは、キャッチとターンです。まずキャッチです。アップでは、スカーリングなどの練習が多くキャッチのために必要な肘から指先までのアップが終わってからメイン練習が始まります。次にターンです。僕は、ターンからターン後の動作

が苦手で、ユーチューブでバタフライのターンでは、水沼選手のターンの動きを見て研究していて、自由形では、ドレセル選手の動作を元に練習をしていたら、前より上手くなったと思います。そしてターン後の水中動作です。この水中動作は、最初はターン後の動作が下手でユーチューブを見てドレセル選手の動きを元に練習しています。ドレセル選手は、ターン後膝が曲がっている間の抵抗を減らすために、膝が曲がっている間は、腰より上半身が真っすぐな状態です。このことを研究して、ターン後は周りよりはターン後の動作が上手くなり、浮き上がりの後は体半分ぐらいのリードが生まれるようになりました。

三つ目は、前半から積極的に泳ぐことです。僕は、コーチからレース時に前半から積極的に行けと言われても前半から行けず、いつもレース後体力が残っていて後悔していました。でも試しに前半から行ってみようと思い、前半から積極的に泳ぐようにしたら100mバタフライでJOを切ることができ、やっぱり前半から行かないと意味がないと思いました。これらのことをやっていくうちに体力とタイムが伸びていき各大会で大会記録を出せるようになりました。

これから先は、フィニッシュが上手くできていないから、その練習と、この先もJOに出続けられるようにしたいです。

令和４年度　総務部事業報告

事務局　石見　鉄夫

◎総会

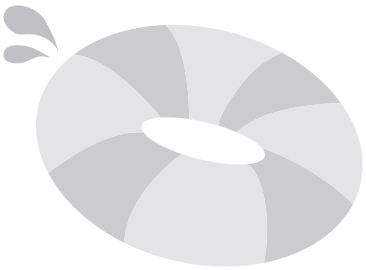
令和４年度総会　令和４年４月24日
ホテルグローバルビュー新潟

１．各部の報告と事業予定承認
２．令和３年度決算及び４年度予算承認
３．その他
４．懇親会

◎理事会

第１回理事会　令和４年３月15日
西海岸公園市営プール

（１）各部の事業報告
（２）予算、決算
（３）その他



◎大会関係（主催の大会）

１．新潟市年齢別選手権　令和４年８月28日
50m種目と４×50mレクリエーション、
参加者377名
※新型コロナウイルス感染拡大予防のため縮小して開催

２．新水協親善公認記録会　令和４年11月20日
※新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止

2023年度の当協会の主催・共催・主管する水泳競技大会（会場は全て西海岸公園市営プール）

大　会	日　時	主　催
新潟県障害者水泳大会	５月28日（日）	障害者スポーツ協会
新潟県小学生室内選手権	６月11日（日）	県水連
第37回NST新潟県小学校選手権水泳大会	７月23日（日）	県水連
新潟市年齢別選手権水泳競技大会	８月27日（日）	新潟市、新潟水泳協会
新水協親善公認記録会	11月19日（日）	新潟水泳協会
JSCA新年フェスティバル	１月13日（土） 14日（日）	スイミングクラブ協会
JOC新潟県予選会	１月28日（日）	県水連

SC部　令和４年度の活動報告と今後の課題

SC部　松木　保

◎令和４年度の活動

１）競技会

期　日	競技会名	会　場
４月10日（日）	第76回ＢＣ級大会	ＤＰプール
４月24日（日）	第28回マスターズフェスティバル	ＤＰプール
５月22日（日）	第33回クラブ対抗大会	柏崎アクアパーク
６月26日（日）	第47回信越小学生大会	柏崎アクアパーク【中止】
７月10日（日）	第65回Ａ級大会 第10回チャレンジミート	ＤＰプール
11月13日（日）	第77回ＢＣ級大会	ＤＰプール
１月８日（日）・９日（月）	第49回新年フェスティバル	西海岸プール
２月19日（日）	第11回チャンピオンシップ 第５回ＣＳチャレンジミート	ＤＰプール

２）研修会

期　日	テーマ	会　場
９月25日（日）	水中運動（カラダ本来の連動制を引き出す）	アクシーひがし

コロナ感染拡大で中止となっていた水泳競技会が、ようやく開催され始めました。日々一生懸命練習に励んでいる選手たち、指導するコーチたちにとっては一安心という所でしょうか。

長い間、選手たちにはマスクの着用、三密の回避、応援の自粛、健康状況の報告など、様々な制約が課されてきました。家族やチームメイトに１人でも感染者が出ると、自分がいくら健康でも長期間練習を休まなければなりません。大会に出場することができなくなることもあります。人のやる気をくじくようなきまりがことごとく敷かれる中、タイムが伸び悩む選手、さらには水泳競技をやめた選手もあったことでしょう。

しかし、多くの選手たちは理不尽なルールに不平不満を口にすることなく、黙々と練習を積み重ね自己ベストを更新しています。優れた選手は全国大会の標準タイムを突破し、より高いステージで強豪と戦っています。子供の順応力には本当に驚かされます。

いかなる環境の下でも、けなげに頑張っている子供たちを見るにつけ、つい「コロナだから・・」とうまく行かない理由を環境のせいにしてしまう自分が恥ずかしくなります。夢や目標に向かい、あきらめることなく歩み続けることがいかに大事なことかを子供たちが教えてくれています。

令和４年度の反省と令和５年度の活動計画

競泳強化部　上野　幹夫

◎令和４年度の反省

１　通年の強化練習について

①　計画通りに強化練習を行い、全体的に成果が上がっている。

②　夏休みなど学校の長期休業中にも２部練習等効果的な練習を行うことができた。

③　小学生、中学生、高校生とも新潟県の上位で活躍する選手が育ってきている。

④　北信越大会入賞・全国大会に出場するなど大きな成果を上げることができた。

⑤　日曜練習では、ＡＦＡＳ豊栄やＩＳＣウェル等と合同での練習で連携を図った。

⑥　普及部からの選手勧誘を進めているが、選手数が増えない。今後の大きな課題。

⑦　コロナ渦の中で、プール休館時の練習対応ができなかった。（練習場所の確保）

２　試合等について

⑴　試合数　年間15試合に参加

⑵　年代別の成果

①高校生　県大会・北信越大会上位入賞

②中学生　県大会出場

③小学生　ＢＳＮ大会等出場しベストタイムを大幅に更新。

⑶　県・全国ランキング各年代でランキング入りすることができた。（強化指定選手）

⑷　令和５年度も中学生から高校生・大学生まで各年代で活躍できるよう強化する。

3　今後の課題

(1)　全国大会入賞に向けた強化選手の発掘･育成。
(2)　次世代の選手の育成と強化。
(3)　スイミングスクール、中・高体連等との連携と合同練習。
(4)　スタッフの安定的な確保とレベルアップ。
(5)　練習場所の確保（日曜練習・早朝練習等）
(6)　選手の勧誘と育成（普及との連携強化）
(7)　大会遠征費等の経費負担の改善
(8)　コロナ渦での練習体制の確立
(9)　部活動の地域移行に伴う活動内容の拡充

◎令和５年度活動方針（案）

1　通年の強化練習について

(1)　毎週火曜日～土曜日　17：30～21：00の時間帯でＡＳと調整しながら練習を行う。
　＊夏場（６月～８月）の日曜日は屋外長水路での朝練習を効果的に行う。
(2)　(1)以外にも土日や長期休業中の強化練習を別途計画（プールと調整要）
(3)　中・高体連やスイミングスクールとの合同練習を計画

2　試合について

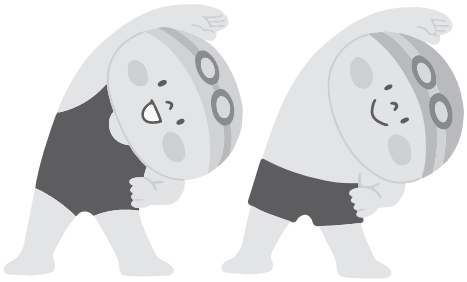
・参加する試合の選択（選手育成の観点から積極的な参加を図る）
・大会のレベル・規模・選手のコンディション等を考慮して参加する。
・全国大会の出場を目標とするので、その予選会には全て参加する。

3　その他

・県水連との連携を図りながら活動を進めていく。
・普及部からの積極的な選手勧誘。
・コーチの確保に毎年苦慮している。選手の指導と仕事の両立が難しい。
・シニアチームの創設。（大学生・社会人を対象）

＜主な大会日程（日程は予定）＞
＊この他にも大会が入ることがあります。

月	大会名	月	大会名
4	２日　柏崎アクアパーク記録会	10	15日　県スプリント選手権(長岡)
5	14日　ミドルディスタンス選手権(長岡) 24日　高校地区大会(西海岸)	11	19日　新水協親善記録会(西海岸)
6	３・４日　県選手権(長岡) 11日　県小学生選手権(西海岸) 19・20日　中学地区(西海岸) 22～24日　県高校(長岡)	12	10日　フリッパーズカップ(長岡)
7	１・２日　中部インカレ(長岡) 23日　NST選手権(西海岸) 21～23日　高校北信越(金沢) 15･16日　県中学(長岡)	1	７日　長岡新春(長岡) 13･14日　新年フェスティバル(西海岸) 28日　JO予選(西海岸)
8	４日　北信越中学(金沢) 10～12日　全国国公立(長岡) 13日　BSN大会(長岡) 17～20日　インハイ(北海道) 17～19日　全中(香川) 28～31日　全国夏季JOC 27日　新潟市民大会(西海岸)	2	11日　長岡室内選手権(長岡) 18日　チャンピオンシップ(長岡) チャレンジミート
9	12日　県高校秋季(長岡) 20～24日　国民体育大会(鹿児島) 27日　新潟市新人戦(西海岸)	3	２・３日　中村真衣CUP(長岡) 26～30日　全国JOC(東京辰巳)



令和４年度　日本泳法部の活動報告と
令和５年度　日本泳法部の活動計画

日本泳法部　藤原　智美

令和４年度　日本泳法部の活動報告

・日本泳法教室　日曜日　13：30～14：30
西海岸プールで開催
指導担当　福田舞子、藤原智美、杉澤葉子
春　4/10～6/19（9回）教室参加者17人
秋　10/2～12/7（8回）教室参加者15人
冬　1/15～3/18（8回）教室参加者15人

・令和４年度　游士資格審査会
開 催 日　令和４年５月28日(土)
場　　所　千葉県習志野市
千葉県国際総合水泳場
新潟からは２名参加し中野隆さんが合格されました。
これで新潟水泳協会の有資格者は範士１名、教士２名、練士２名、修水１名、游士12名になりました。

・関屋浜遠泳大会
中止

・第67回　日本泳法大会
開 催 日　令和４年８月21日(土)、22日(日)
場　　所　兵庫県神戸市
神戸市立ポートアイランドスポーツセンター
新潟からの参加はありませんでした。

・神伝流津山游泳会推戴式
開 催 日　令和４年12月18日(日)
場　　所　岡山県津山市
シロヤマホテル津山別邸
神伝流前宗師推戴により、新しく第二十一世神伝流宗師になられた　池田康政宗師の推戴式が行われました。新潟からは杉澤が参加し、お祝いの言葉を述べてきました。

・第70回　日本泳法研究会
課　　題　『水泳日本のルーツと日本泳法』
開 催 日　令和５年３月19日(土)、20日(日)
場　　所　東京都あいおいニッセイ同和損保新宿ビル

令和５年度　日本泳法部の活動計画

・日本泳法教室
【期　日】春　８回（４～６月）
秋　８回（10～12月）
冬　６回（１～３月）
【場　所】西海岸プール
【時　間】毎週日曜日　13：30～14：30
【指導者】日本泳法部

・第68回　日本泳法大会
【期　日】令和５年８月19日(土)、20日(日)
【場　所】千葉県習志野市
千葉県国際総合水泳場

・第22回　東京都日本泳法競技会
【期　日】未定
【場　所】未定

・第71回　日本泳法研究会
【期　日】令和６年３月23日(土)、24日(日)
【場　所】和歌山県和歌山市

新年八十路突入にあたり

西海岸普及部　松田　彰

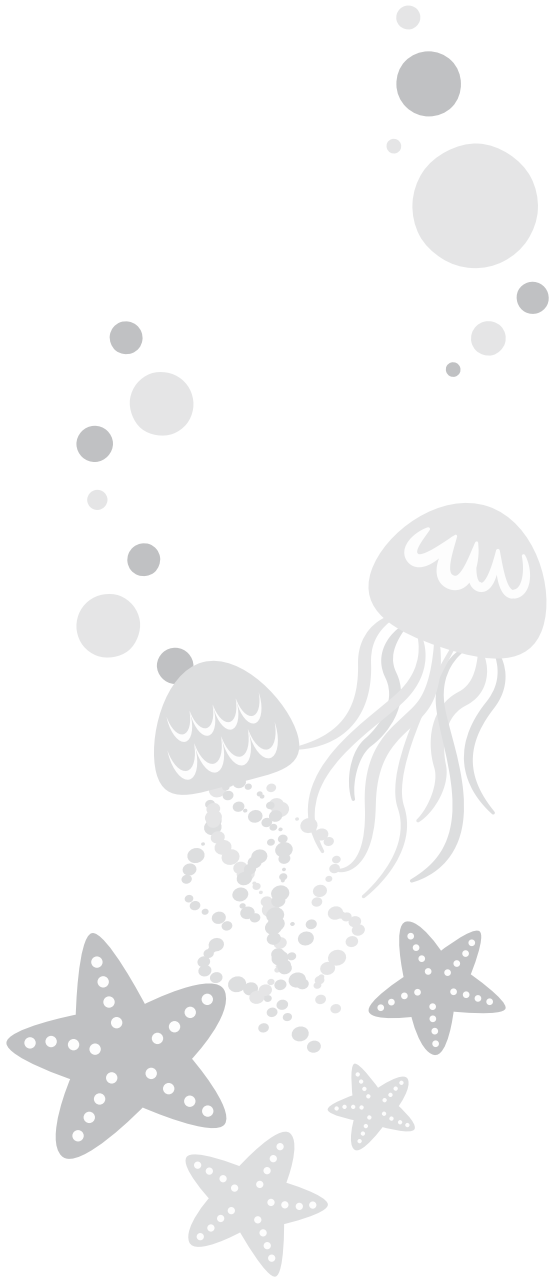
冬を迎える前に自転車を廃棄したそのわけは、何度か「ヒヤリハット」を経験したが、妻が春先と秋の二回転倒して両腕を骨折したから。免許証はこれからが必要度を増すと思うので、ハンドルを握って勘の衰えに備えている。

急いで駆け込んだ体育館のトイレ。サングラスを重ねていたので真っ暗闇。足がもつれて顔面から倒れこんだ。以来、鬼嫁から号令が飛んでくる「首を前に出すな、足上げて」。

コミセンでダンベル体操やダンス教室と体を動かす集いに参加しているが、本命は半世紀余り続けているプールでの水泳指導。コーチ仲間の後輩が育ち心配ないが、できる限りこれからも見守って行きたい。コロナ前、定例検診で「八十路が近いが、あと何年位生きられますか？」とドクターに尋ねたら、九十まで大丈夫と夢のような太鼓判。アハハ！真に受けてその気になった。で、パソコン教室の門をたたいたが、脳みそがさび付いて時間がかかる。聞いたことは直ぐ忘れる、それでもいい。楽しいことをやって、楽しくないことは飛ばすことにした。

歯について八〇二〇運動が推進されているが、二十六本自歯健在だ。大事にしたいと思うが、アメが口に入ると噛む癖が治らない。体の部品の衰えは一律ではないが、美味しいものは美味しく頂きたい。

これからどんなことが待っているのかナ？



令和４年度の反省と令和５年度活動計画

AS部　大串真理子

◎令和４年度の反省

１．通年練習

曜日別

　レベル・年齢に応じた陸上トレーニング方法の見直し。

夏休み

西海岸プール　土日朝練習

　繁忙期につき１日練習ができない。

　入水時間の不足分を入水後の陸上トレーニングで補う。

ＤＰ　土日練習

　集中力、精神力、体力の強化に有効だが、高速バス代・プール代など選手は金銭的に負担が多い。

２．強化合宿

　北信越国民体育大会、チャレンジカップ各大会の直前合宿を１泊２日で行う。

　北信越は遠征が初めての小学生もいたので練習だけでなく、合宿での経験が遠征でも繋がるように意識づけることができた。

３．大会

毎年、全国ＪＯ予選を突破することを目標に強化しているが中々突破できない。

しかし、北信越国体は2021年度に続いて中学生と高校生が出場できるまでになった。

更に日本選手権の次のレベルの高いチャレンジカップ本選にデュエットで出場することができた。

小学生のデュエットが全国ＪＯの予選突破にもう少しのところで及ばなかった。

４．検定　バッジテスト

今年度は全国大会の出場資格取得に必要なバッジテストに育成コース４人が富山と石川で挑戦した。

合格基準に達すること出来た選手もいたが不合格の選手は金沢まで受けに行った。２月の受験は雪の不安から新幹線で乗り継ぎながらの移動だったので金銭的にも時間的にも大変だった。

水泳の聖地である東京辰巳国際水泳場が今年度で水泳場としては閉館になる。

毎年出場していた辰巳杯がコロナ感染拡大で２年中止になり、３年ぶりに最後に出場できた。

大会としては時期的にもシーズンの最初に大会形式や水に慣れることが出来る大会だったので残念だ。

参加者全員１位２位３位と入賞できた。

相変わらず、コーチ不足に悩まされている。週末の１日練習がコーチの負担になる。しかし、週末の１日練習はＡＳ強化には必須である。また､2022年は新たな選手が増えず、体験会を２回開いたが参加はするものの入部までは至らないのが残念だ。

◎令和５年度活動計画

１．通年練習

更にレベルアップしたトレーニングで筋力、瞬発力、持久力の強化を図る。

２．強化合宿

今年は地元開催の全国予選会が２大会あるので練習会も含め、ＤＰでの１日練習で集中力を高めたい

３.大会

今年こそ、全国ＪＯ予選を突破したい。
ルール改正があり、一段とレベルが上がっている。
厳しいものがあるが挑戦したい。
北信越国体デュエットもルール改正の為、更にハードルがあがった。
経験不足の上、１人が受験生だったため、練習不足と３重苦だが今年はまずは昨年より、得点を挙げる努力をさせたい。
昨年に引き続きチャレンジカップ挑戦する。
基本であるチームでの挑戦だ。
中学性以上の年齢の選手が組める。
正式には８人で泳ぐチームだが高校生と中学生のチーム５人で挑戦する。中学生にとっても次に繋げるための第一歩になる。

４.検定　バッジテスト

全員がステージ６まで取ることが全国ＪＯより上の大会に出場することが出来る。
必須条件なので今年はできれば富山で全員合格を狙いたい。

その他

昨年開設した普及コースに専属のコーチを付けたが家庭の事情で続けることが出来なくなった。
今年も体験会を開きたいがコーチの確保が難しい。

2023年は北信越国体、全国ＪＯ予選の北信越ブロックの開催当番県なので選手の強化だけでなく、競技役員の育成に忙しい年になる。
保護者、ＯＧやその保護者、マスターズの皆様の協力なくしては５年に１回やってくる大会を乗り切ることはできない。
感謝に堪えません。

HS部　令和４年度活動報告書 令和５年度活動予定

HS部　岡野　高志

◎令和４年度　ＨＳ部活動報告

月　　日	活動内容	会　　場
５月29日（日）	第23回新潟県障害者スポーツ大会 水泳競技予選	西海岸プール
８月28日（日）	新潟市市民水泳選手権大会	西海岸プール
10月29日～31日（土～月）	第22回全国障害者スポーツ大会 いちご一会とちぎ大会	栃木県
2023年２月26日（日）	2022年度ふれ愛水泳記録会（中止）	ふれ愛プラザ温水プール
３月３～４日（土～日）	2023日本パラ水泳春季チャレンジレース	静岡県

◎令和５年度　ＨＳ部活動計画

月　　日	活動内容	会　　場
５月28日（日）	第24回新潟県障害者スポーツ大会 水泳競技予選	西海岸プール
８月27日（日）	新潟市市民水泳選手権大会	西海岸プール
10月28日～30日（土～月）	第23回全国障害者スポーツ大会 燃ゆるかご島大会	鹿児島県
2024年２月25日（日）	2022年度ふれ愛水泳記録会	ふれ愛プラザ温水プール
３月（予定）	2024パラ水泳春季記録会	

1年を振り返って

レディース部　田近　圭子

春から夏にかけては、まだまだ新型コロナウイルスに心配な日々でしたが、ようやく出口の明かりが見えるようになりました。

三年の間に残念ながらプールから足が遠のいた方も多かったと思います。一方で制限のある中、それでも体力維持や心の健康のためにスポーツを続けてきた方々は、コロナ禍を乗り越えていました。その元気な姿を見ると嬉しく思います。

誰も予期しなかったコロナ禍を経て改めて感じることは、人と繋がる大切さでした。普通にプールに通うことができ、そこに仲間がいる素晴らしさ。心身の健康に水泳が役立てるよう、そして水泳愛好者が増えるように、これからもレディース部がお役にたてるよう部員一同努力して参りたいと思います。

編集後記

皆さんのご協力のお陰で、『広報　新潟水協』第42号を発行することができ、心より感謝申し上げます。

昨年、甲子園優勝校の監督が『青春って、すごく密なので』と言っておりましたが、この広報の文章や写真を見ると、チャレンジ精神や勇気・希望、水泳への情熱を感じます。老若男女問わず、日々活動を続けて行けば、青春は永遠にその人のものになるのかなぁと思いました。そういえば青春とは心の若さであるとか言っていた人もいましたね…。